

# 経済産業省の脱炭素社会に関する取組

令和4年11月14日

中国経済産業局 資源エネルギー環境部  
カーボンニュートラル推進・エネルギー広報室

# 1. 世界の動き

2. 我が国の政策 ～経産省を中心に～

3. 中国地域のエネルギー事情

4. カーボンニュートラルに向けた支援策

# カーボンニュートラル（CN）を巡る動向

- 近年、期限付きカーボンニュートラル目標を表明する国地域が急増し、その**GDP総計は世界全体の約90%**を占める（前回COP終了時には**約26%**）。
- こうした中、金融市場の動きも相まって、あらゆる産業が、**脱炭素社会に向けた大競争時代**に突入。環境対応の成否が、企業・国家の競争力に直結することに。

## カーボンニュートラルの波

### ＜期限付きCNを表明する国地域の急増＞

COP25  
終了時  
(2019)

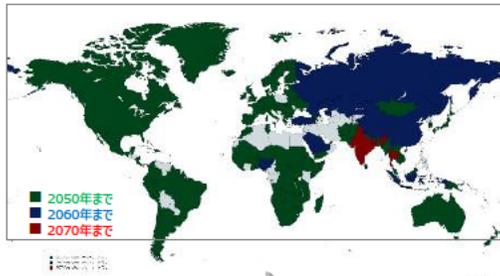
- 期限付きCNを表明する国地域は121、世界GDPの**約26%**を占める

COP26  
終了時  
(2021)

- 期限付きCNを表明する国地域は154、世界GDPの**約90%**を占める

(出所) World Bank, World Development Indicators, GDP (constant 2015 US\$)

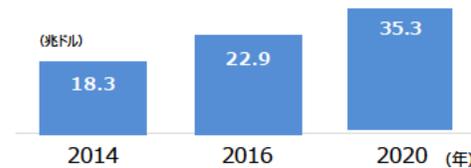
(参考) COP26終了時点のCN表明国地域



## 金融機関の動き

### ＜世界的なESG投資額の急増＞

- 全世界のESG投資の合計額は、2020年に35.3兆ドルまで増加



(出所) GSIA「Global Sustainable Investment Review」

### ＜企業情報開示・評価の変化＞

- 企業活動が気候変動に及ぼす影響について開示する任意枠組み「TCFD」に対し、世界で2,616の金融機関等が賛同
- また、「TCFD」は、情報開示だけでなく、**インターナル・カーボンプライシングの設定も推奨**

## 産業界の対応

### ＜サプライチェーン全体の脱炭素化＞

- 国内外で、サプライチェーンの脱炭素化とそれに伴う経営全体の変容（GX）が加速

海外

Microsoft 2030年まで

Apple 2030年まで

国内

リコー 2050年まで

キリン 2050年まで

カーボンニュートラル表明

### ＜GX時代における新産業の萌芽＞

- 商品価格・機能に加えて**カーボンフットプリント**が購買判断の基準になるような、消費行動の変容を促す新産業が発展
- また、脱炭素関連技術の開発・社会実装について、**大企業のみならず、スタートアップ**が主導するケースも増加

環境対応の成否が、企業・国家の競争力に直結する時代（GX時代）に突入

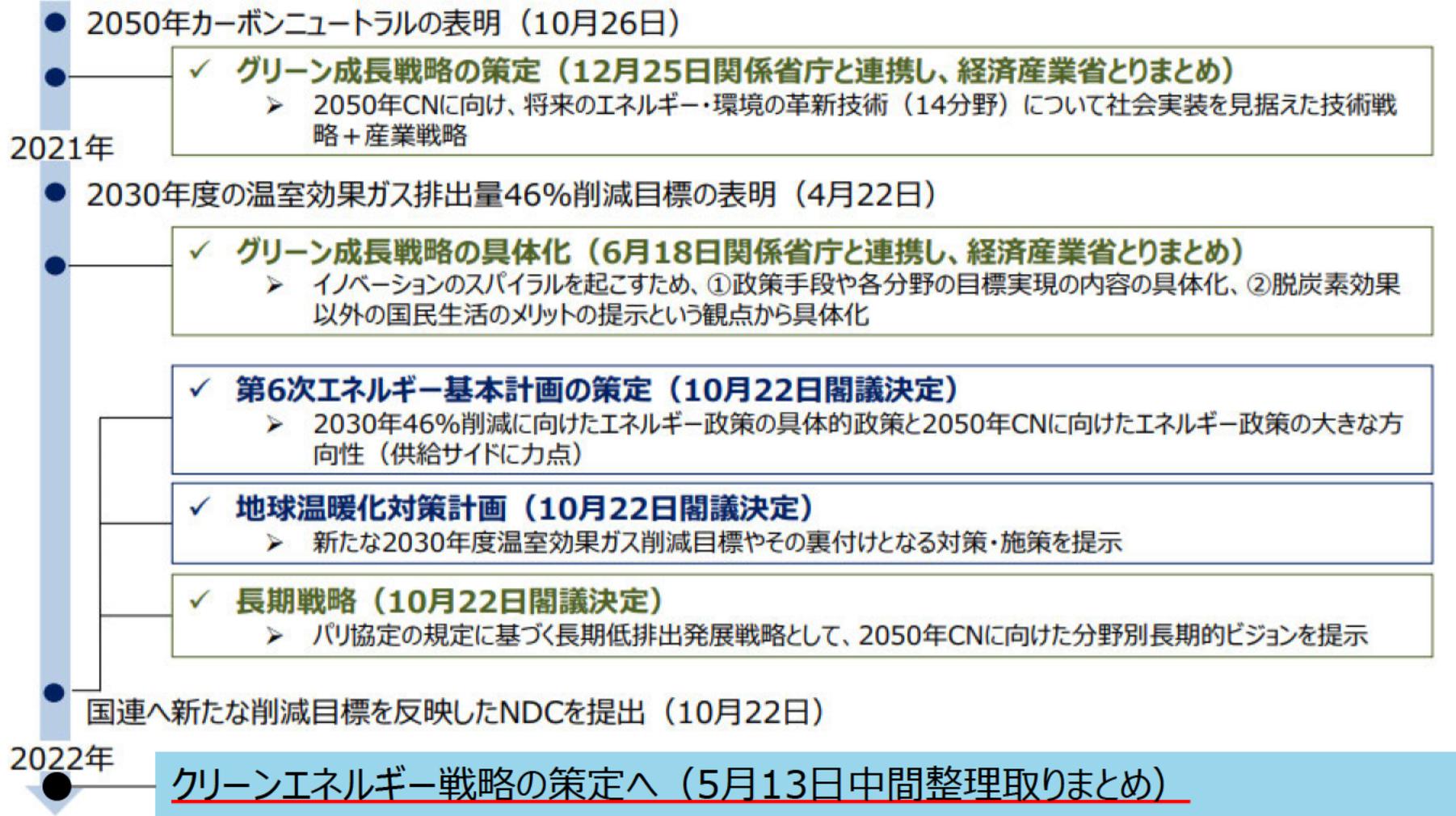
1. 世界の動き

2. 我が国の政策 ～経産省を中心に～

3. 中国地域のエネルギー事情

4. カーボンニュートラルに向けた支援策

# 2050年カーボンニュートラル実現に向けたこれまでの取組



# 『エネルギー基本計画』

- エネルギー基本計画は、エネルギー政策の基本的な方向性を示すためにエネルギー政策基本法に基づき政府が策定。令和3年10月に第6次エネルギー基本計画が策定される。
- 第6次エネルギー基本計画では、『2050年カーボンニュートラル』や温室効果ガス排出削減目標の実現に向けたエネルギー政策の道筋を示すことを重要なテーマの一つとしている。

エネルギー需給の見通し(2030年度エネルギーミックス)を野心的に見直し

## 再エネ電源の主力電源化

	(2019年 ⇒ 旧ミックス)	2030年度ミックス (野心的な見直し)
<b>省エネ</b>	(1,655万kl ⇒ 5,030万kl)	<b>6,200万kl</b>
最終エネルギー消費 (省エネ前)	(35,000万kl ⇒ 37,700万kl)	35,000万kl
<b>電源構成</b>		
<b>再エネ</b>	(18% ⇒ <b>22~24%</b> )	<b>36~38%*</b>
発電電力量: 10,650億kWh ⇒ 約9,340 億kWh程度		
<b>水素・アンモニア</b>	(0% ⇒ 0%)	<b>1%</b> (再エネの内訳)
<b>原子力</b>	(6% ⇒ 20~22%)	<b>20~22%</b> (太陽光 14~16%)
<b>LNG</b>	(37% ⇒ 27%)	<b>20%</b> (風力 5%)
<b>石炭</b>	(32% ⇒ 26%)	<b>19%</b> (地熱 1%)
<b>石油等</b>	(7% ⇒ 3%)	<b>2%</b> (水力 11%)
		バイオマス 5%

※現在取り組んでいる再生可能エネルギーの研究開発の成果の活用・実装が進んだ場合には、38%以上の高みを目指す。

# 『グリーン成長戦略』 14の重点分野

## 2050年に向けて成長が期待される、14の重点分野を選定。

・高い目標を掲げ、技術のフェーズに応じて、実行計画を着実に実施し、国際競争力を強化。・2050年の経済効果は約290兆円、雇用効果は約1,800万人と試算。

 <p><b>洋上風力・太陽光・地熱</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2040年、3,000～4,500万kWの案件形成【洋上風力】</li> <li>2030年、次世代型で14円/kWhを視野【太陽光】</li> </ul> <p>1</p>	 <p><b>水素・燃料アンモニア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2050年、2,000万トン程度の導入【水素】</li> <li>東南アジアの5,000億円市場【燃料アンモニア】</li> </ul> <p>2</p>	 <p><b>次世代熱エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2050年、既存インフラに合成メタンを90%注入</li> </ul> <p>3</p>	 <p><b>原子力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2030年、高温ガス炉のカーボンフリー水素製造技術を確立</li> </ul> <p>4</p>	 <p><b>自動車・蓄電池</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2035年、乗用車の新車販売で電動車100%</li> </ul> <p>5</p>	 <p><b>半導体・情報通信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2040年、半導体・情報通信産業のカーボンニュートラル化</li> </ul> <p>6</p>	 <p><b>船舶</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2028年よりも前倒しでゼロエミッション船の商業運航実現</li> </ul> <p>7</p>
 <p><b>物流・人流・土木インフラ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2050年、カーボンニュートラルポートによる港湾や、建設施工等における脱炭素化を実現</li> </ul> <p>8</p>	 <p><b>食料・農林水産業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2050年、農林水産業における化石燃料起源のCO<sub>2</sub>ゼロエミッション化を実現</li> </ul> <p>9</p>	 <p><b>航空機</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2030年以降、電池などのコア技術を、段階的に技術搭載</li> </ul> <p>10</p>	 <p><b>カーボンリサイクル・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2050年、人工光合成プラを既製品並み【CR】</li> <li>ゼロカーボンスチールを実現【マテリアル】</li> </ul> <p>11</p>	 <p><b>住宅・建築物・次世代電力マネジメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2030年、新築住宅・建築物の平均でZEH・ZEB【住宅・建築物】</li> </ul> <p>12</p>	 <p><b>資源循環関連</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2030年、バイオマスプラスチックを約200万トン導入</li> </ul> <p>13</p>	 <p><b>ライフスタイル関連</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2050年、カーボンニュートラル、かつレジリエントで快適な暮らし</li> </ul> <p>14</p>

## 政策を総動員し、イノベーションに向けた、企業の前向きな挑戦を全力で後押し。

<p><b>1 予算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンイノベーション基金（2兆円の基金）</li> <li>経営者のコミットを求める仕掛け</li> <li>特に重要なプロジェクトに対する重点的投資</li> </ul>	<p><b>2 税制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンニュートラル投資促進税制（最大10%の税額控除・50%の特別償却）</li> </ul>	<p><b>3 金融</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多排出産業向け分野別ロードマップ</li> <li>TCFD等に基づく開示の質と量の充実</li> <li>グリーン国際金融センターの実現</li> </ul>	<p><b>4 規制改革・標準化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新技術に対応する規制改革</li> <li>市場形成を見据えた標準化</li> <li>成長に資するカーボンプライシング</li> </ul>
<p><b>5 国際連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日米・日EU間の技術協力</li> <li>アジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ</li> <li>東京ビヨンド・ゼロ・ウィーク</li> </ul>	<p><b>6 大学における取組の推進等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学等における人材育成</li> <li>カーボンニュートラルに関する分析手法や統計</li> </ul>	<p><b>7 2025年日本国際博覧会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>革新的イノベーション技術の実証の場（未来社会の実験場）</li> </ul>	<p><b>8 若手ワーキンググループ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2050年時点での現役世代からの提言</li> </ul>

## 『クリーンエネルギー戦略（中間整理）』の全体像

- 今般の中間整理では、まず**第1章**において、ウクライナ危機・電力需給ひっ迫を踏まえ、**エネルギー安全保障に万全を期し、その上で脱炭素を加速させるための政策を整理。**
- **第2章**では、①脱炭素を経済の成長・発展につなげるための**産業のグリーントランスフォーメーション（GX）**、②**産業界のエネルギー転換の具体的な道筋や取組**、③**地域・くらしの脱炭素化**に向けた具体的な取組を整理した上で、それらを踏まえ、④GXを実現するために**必要となる政策等を整理。**

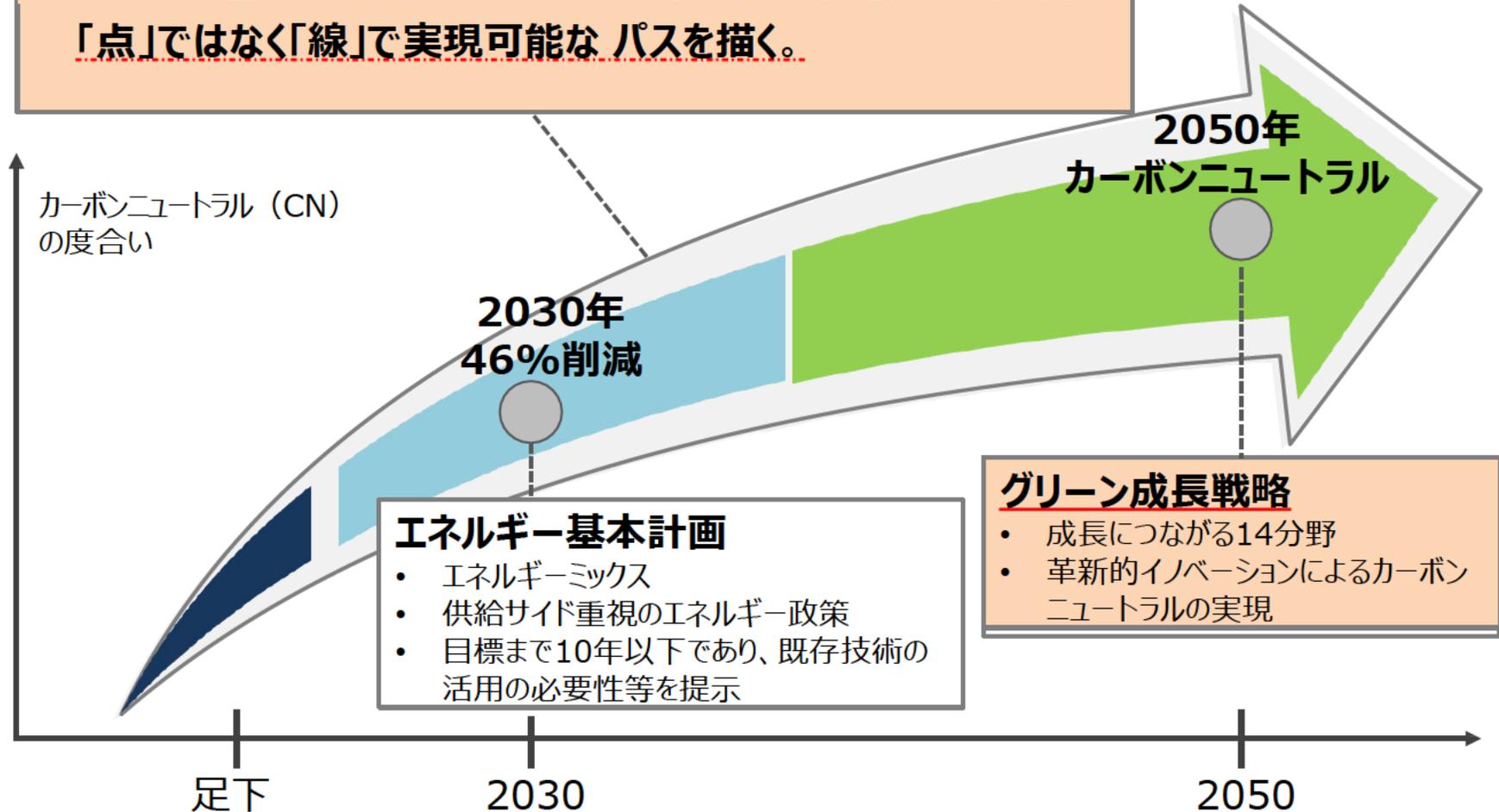
<p>第1章 エネルギー安全保障の確保</p>	<p>➤ <u>ウクライナ危機・電力需給ひっ迫を踏まえ、再エネ、原子力などエネルギー安保及び脱炭素の効果の高い電源の最大限の活用など、エネルギー安定供給確保に万全を期し、その上で脱炭素を加速させるためのエネルギー政策を整理</u></p>	
<p>第2章 経済・社会、産業構造変革</p>	<p>第1節 エネルギーを起点とした産業のGX</p>	<p>➤ エネルギー需給構造と産業構造の転換を同時に実現し、<u>脱炭素を経済の成長・発展につなげるという方向性</u>を整理</p> <p>➤ <u>GXに取り組む各産業の課題や対応の方向性</u>を整理</p> <p>➤ <u>CCSやネガティブエミッションなどの炭素中立に不可欠な技術の事業化</u>に向けた課題や対応の方向性を整理</p>
	<p>第2節 産業のエネルギー需給構造転換</p>	<p>➤ <u>産業界のエネルギー転換の道筋や具体的な取組</u>、それらに伴う<u>コスト</u>等を整理</p>
	<p>第3節 地域・くらしの脱炭素に向けた取組</p>	<p>➤ 地域社会が主体的に進める取組の後押し、国民一人ひとりの理解促進など、<u>地域・くらしの脱炭素化</u>のために必要となる課題やそれを解決するための取組を整理</p>
	<p>第4節 GXを実現するための社会システム・インフラの整備に向けた取組</p>	<p>➤ 上記を踏まえ、<u>GXを実現するために必要となる政策等</u>を整理</p>

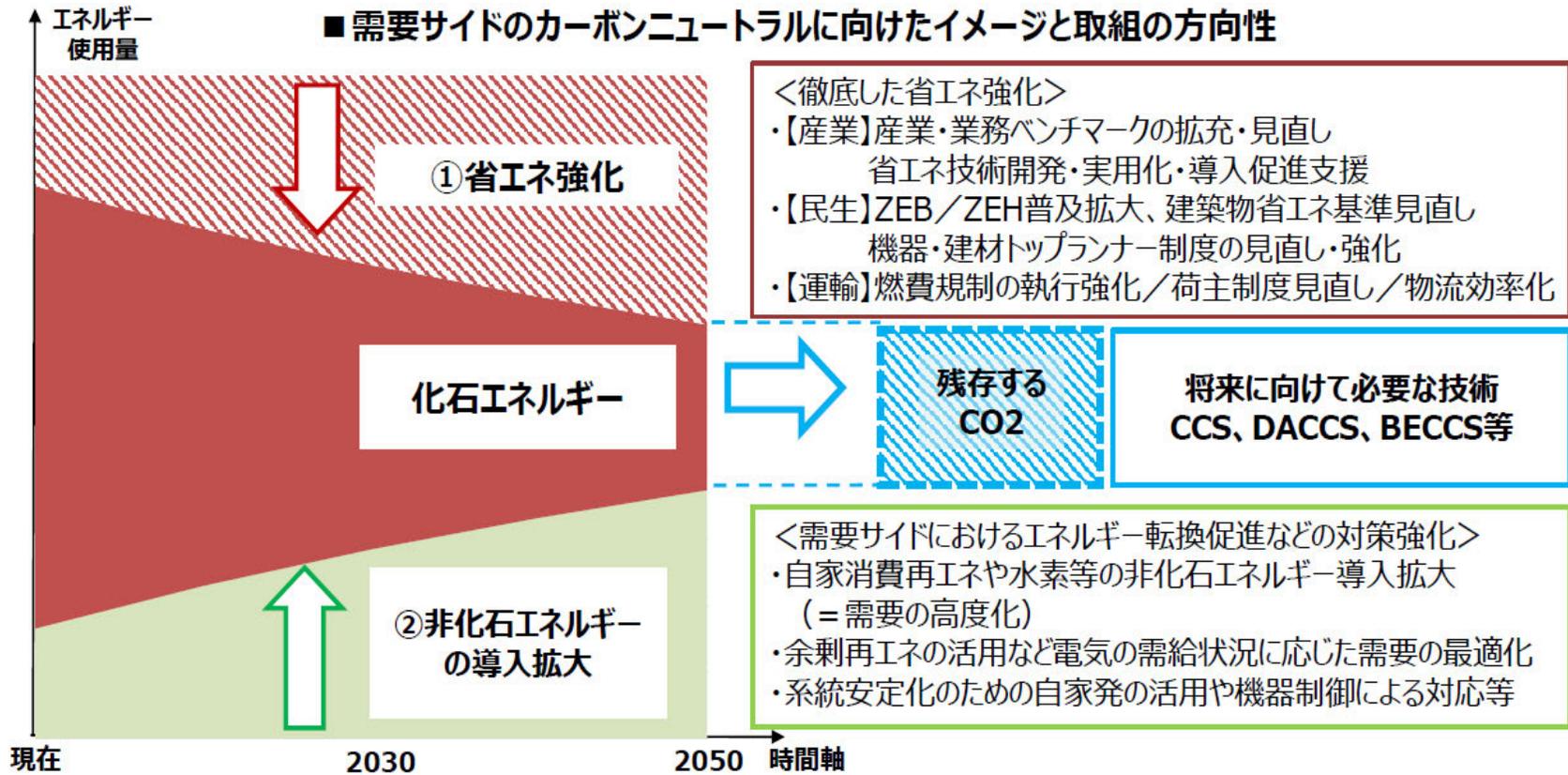
# 『グリーン成長戦略』と『クリーンエネルギー戦略』

## クリーンエネルギー戦略 (2021年12月議論開始、2022年5月中間整理)

- 脱炭素を見据え、将来にわたって安定的で安価なエネルギー供給を確保
- 供給サイドに加えて、産業など需要サイドの各分野でのエネルギー転換の方策を検討

「点」ではなく「線」で実現可能なパスを描く。



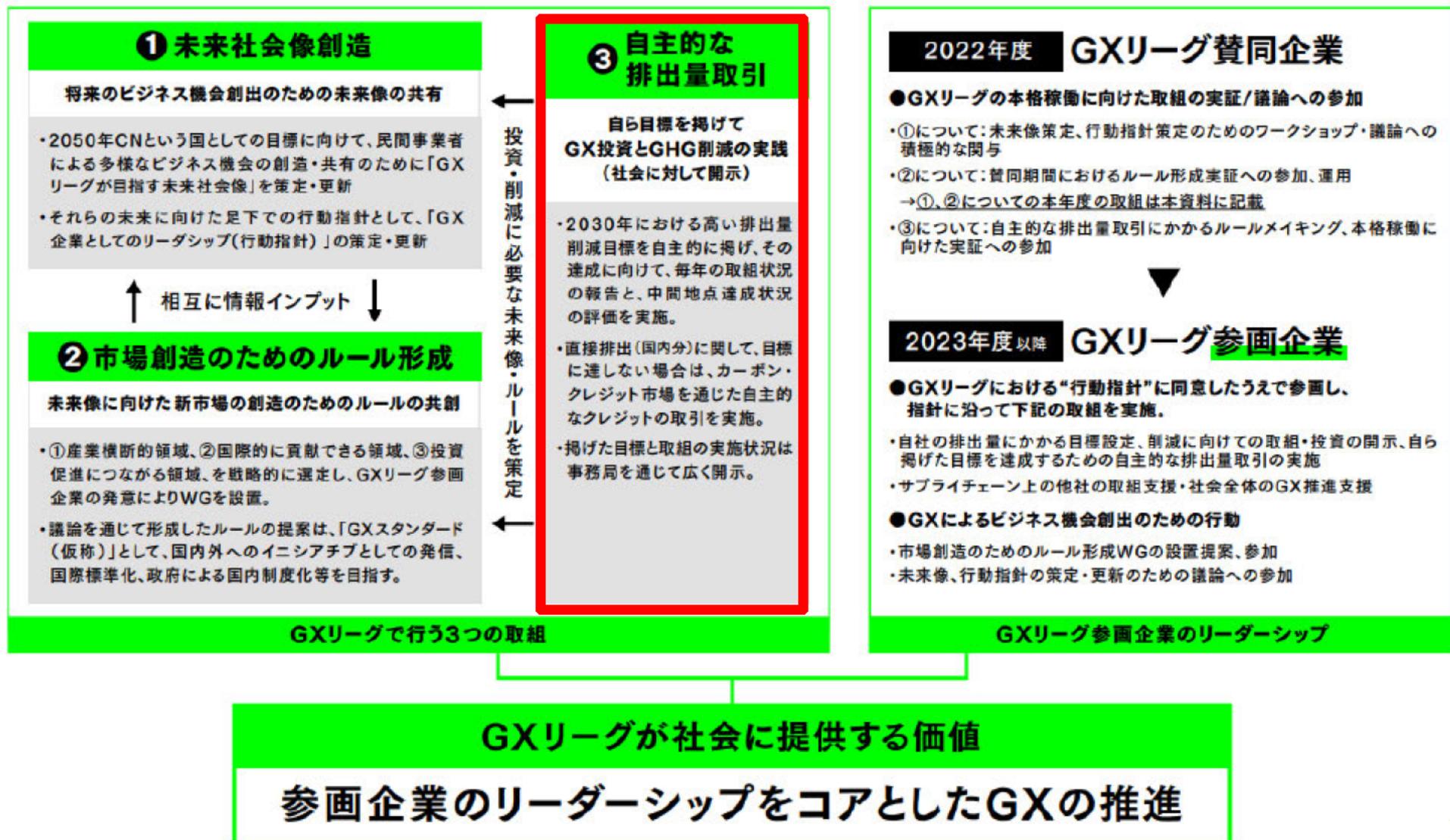


2050年カーボンニュートラル目標が示されたことを踏まえ、途中である2030年に向けても、徹底した省エネを進めるとともに、非化石電気や水素等の非化石エネルギーの導入拡大に向けた対策を強化していくことが必要。

「第6次エネルギー基本計画」より

## 2. 我が国の政策 ～経産省を中心に～ GXリーグ本格稼働時に目指すもの（2023年度以降）

- GXリーグは、下記の3つの取組と参画企業のリーダーシップを通じて、カーボンニュートラルに向けた社会構造変革のための価値を提供することを目指します。



# 「カーボン・クレジット市場」実証事業

← → ↻ 🔒 jpx.co.jp/equities/carbon-credit/index.html

🔗 ☆ ⚙️ 🗄️

## JPX

日本取引所グループ

東京証券取引所

大阪取引所

東京商品取引所

JPX総研

日本取引所自主規制法人

日本証券クリアリング機構

☰ MENU

株式・ETF・REIT等

⋮ 東証への上場

⋮ 商品一覧

⋮ 売買制度（内国株）

⋮ 上場制度（内国株）

⋮ 上場制度の整備

⋮ 上場会社のサポート

⋮ 市場構造の見直し

⋮ **カーボン・クレジット市場**

このページを音声で聴く 🗣️ 印刷 🖨️

## カーボン・クレジット市場



東京証券取引所では、経済産業省からの委託事業として試行取引を行うカーボン・クレジット市場の実証を、2022年9月22日に開始しました。また、カーボン・クレジット市場に関する情報を順次、掲載してまいります。

### 【関連リンク】

- ① 経済産業省 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略 📄
- ② 経済産業省 GXリーグ基本構想 📄
- ③ GXリーグ設立準備公式Webサイト 📄
- ④ J-クレジット 📄

## 2. 我が国の政策 ～経産省を中心に～

### GXリーグ（排出量取引）とカーボン・クレジット市場の関係

- GXリーグ参画企業が、自ら掲げる目標達成に向け、他のGXリーグ参画企業による超過削減枠や、一般に流通するカーボン・クレジットの取引を行うための場として、カーボン・クレジット市場を創設。（本年度は、東京証券取引所で実証を実施）

#### GXリーグ



#### カーボン・クレジット市場（東証）

GXリーグ参加企業による「超過削減枠」

J-クレジット（省エネ、森林保全等）

JCM（日本企業による海外での削減量）

等

※GXリーグ非参加企業も  
売買可能

取引価格の公示（炭素価格の形成）

1. 世界の動き
2. 我が国の政策 ～経産省を中心に～
3. 中国地域のエネルギー事情
4. カーボンニュートラルに向けた支援策

### 3. 中国地域のエネルギー事情

## 中国地域のエネルギー消費実情

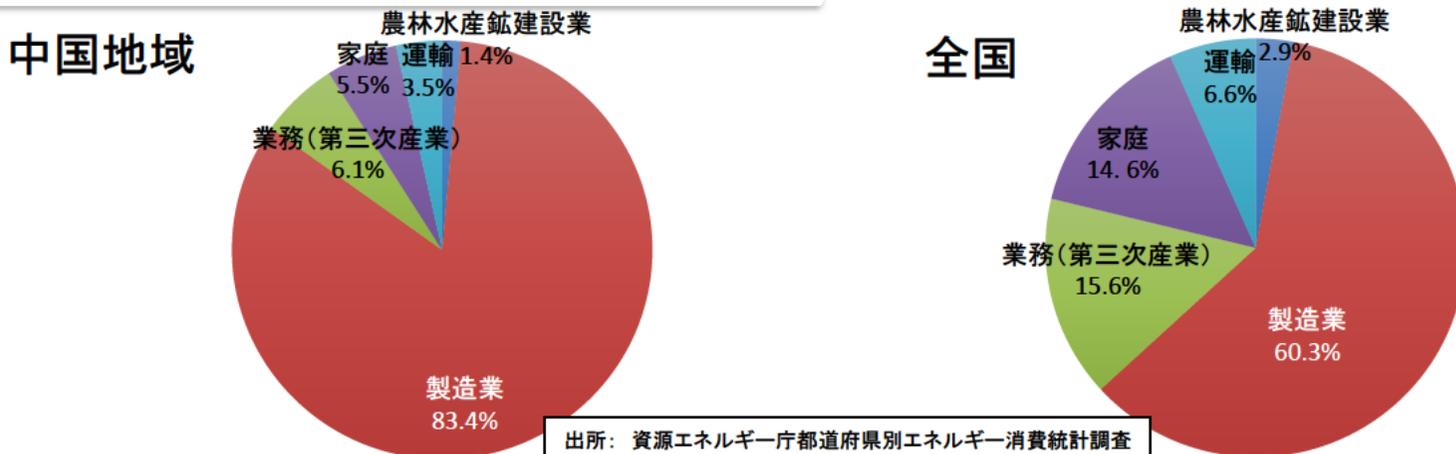
- 中国地域における2018年の最終エネルギー消費は1,706PJで、対全国比は13.7%となっており、中国地域の経済規模を大幅に上回っている。
- 特に製造業は1,423PJと、地域全体の最終エネルギー消費の8割を占め、対全国比19.0%となっている。

### 最終エネルギー消費（2018年、単位：PJ）

	農林水産鉱建設業	製造業	業務他（第三次産業）	家庭	運輸	合計
中国地域	24	1,423	104	94	60	1,706
全国	361	7,480	1,934	1,808	825	12,407
対全国比	6.8%	<b>19.0%</b>	5.4%	5.2%	7.3%	<b>13.7%</b>

(参考) 地域経済規模 中国地域製品出荷額等対全国比 **8.2%** (2018年)

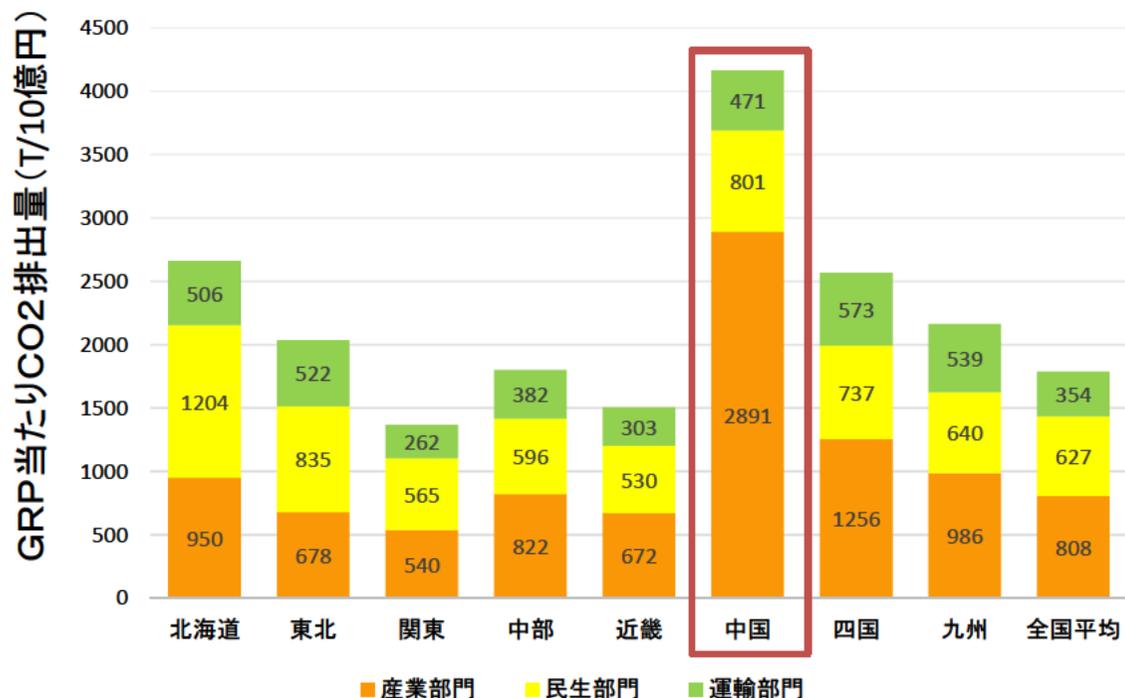
### 最終エネルギー消費部門別構成比（2018年）



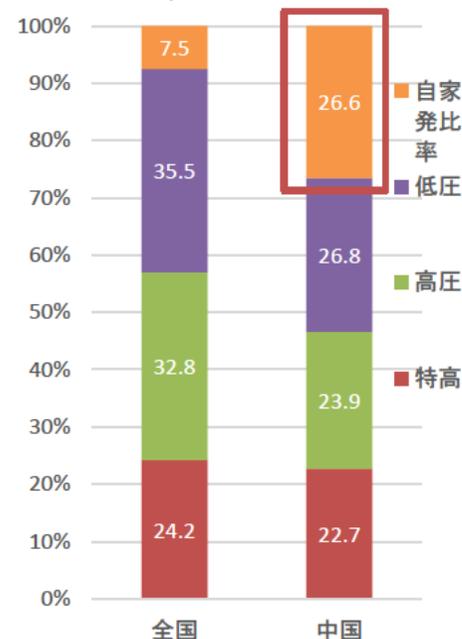
# 中国地域の部門別CO2排出状況

- GRPあたりのCO2排出量は、全国の中でも中国地域が突出して大きい。最大の要因は鉄鋼、化学等の基礎産業に代表される産業部門。
- また、産業部門が所有する自家発の割合が26.6%と全国の7.5%に比べて高いことも特徴。

ブロック別3部門CO2排出量(2018年度)



電力供給の構成比率  
(2020年度)



(資料) 温室効果ガス排出量(環境省)を元に当局にて作成

出所: 資源エネルギー庁発電実績、都道府県別発電実績、都道府県別需要実績、自家発電実績

1. 世界の動き
2. 我が国の政策 ～経産省を中心に～
3. 中国地域のエネルギー事情
4. カーボンニュートラルに向けた支援策

## I. 最重要課題：福島を着実な復興【1,298 (977)】

### 1. 原子力災害からの復興と再生【619 (470)】

- 福島第一原子力発電所における燃料デブリ取り出しの規模拡大に向けた技術開発の実施【149】※令和4年度は補正予算で実施
- 除染土壌の中間貯蔵の実施に係る原子力損害賠償・廃炉等支援機構交付金【470 (470)】

### 2. 福島新エネ社会構想と福島イノベーションコースト構想の実現【679 (507)】

- 再エネトップランナー県に向けた再エネの導入拡大、関連産業の創出【52 (52)】
- 福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)による水素の製造コスト低減や利活用【89 (新規)】
- 福島ロボットテストフィールドを活用した次世代空モビリティの研究開発の推進【35 (29)】

## II. 国民経済を守りながら、未来を切り拓くためのエネルギー需給構造への変革【7,624 (6,550)】

### 1. エネルギー安全保障の再構築【4,832 (4,308)】

#### (1) 資源・燃料供給網の多様化・強靱化【2,774 (2,476)】

- 石油・天然ガス、ベースメタル・レアメタル等の海外権益を確保するためのリスクマネー供給、探鉱活動、技術開発等【871 (623)】
- 砂層型・表層型メタンハイドレートや海底熱水鉱床等の国産資源の確保や商業化に向けた調査・技術開発の促進【387 (374)】
- 石油・LPガスの備蓄制度の実施や燃料供給インフラのレジリエンス強化【1,516 (1,480)】
  - ・供給途絶リスクに備えた石油備蓄放出の機動性向上【468 (448)】
  - ・地域のエネルギー供給を担うSS等の災害対応能力の強化【68 (51)】

#### (2) 安定した電力供給システムの整備【2,108 (1,878)】

- 分散型エネルギー等を活用した高度なエネルギーマネジメントシステムの構築【327 (257)】
  - ・アグリゲーション技術を導入した新たなビジネスモデルの実証【59 (46)】
  - ・系統用蓄電池や水電解装置等の導入支援による電力網の強化【100 (新規)】
  - ・電力需給ひっ迫に備えた揚水発電の機能向上とFS調査支援【17 (新規)】
- 海底直流送電の実用化に向けた調査や技術開発【30 (新規)】
- 安全を最優先とした再稼働と原子力イノベーションの創出【1,299 (1,236)】
  - ・高速炉や高温ガス炉等の革新炉の研究開発【119 (86)】
  - ・原子力関連サプライチェーンの強化に向けた設備導入や研究開発【24 (12)】
- 次世代高効率石炭火力の更なる高効率化とアンモニア混焼の実証【180 (170)】

### 2. グリーンTRANSフォーメーション(GX)の実現【5,030 (4,197)】

#### (1) クリーンエネルギー導入の加速化【4,002 (3,335)】

- 地域と共生した再生可能エネルギーの最大限の導入【1,667 (1,213)】
  - ・太陽光発電の革新的技術開発や需要家主導による導入の支援【199 (156)】
  - ・日本版セントラル方式の一環として実施する洋上風力発電の適地の基礎調査【45 (新規)】
  - ・自然公園法の運用見直しを契機とした国立公園等での地熱資源量調査【160 (127)】
- 水素・アンモニアのサプライチェーンの構築と需要創出【1,440 (1,138)】
  - ・安価な水素の安定供給のための国内外の運搬技術や共通基盤技術の確立【89 (新規)】
- カーボンサイクルやCCSの技術開発・実証事業の推進【793(616)】
  - ・CO2を原料とした合成燃料等の開発【358 (316)】・先進的なCCS事業の支援【45 (新規)】

#### (2) エネルギー利用の高度化【1,829 (1,441)】

- 工場や家庭等における省エネの深化【1,023 (886)】
  - ・先進的な省エネ設備の導入補助【360 (253)】
- 自動車の電動化の促進【635(429)】
  - ・EVやFCV等の導入支援や充電・水素充てんインフラの整備【430 (245)】
  - ・全固体電池等の次世代電池の技術開発【47 (25)】
- デジタル産業基盤の核となる半導体の技術開発【170 (126)】

#### (3) 経済社会システムの変革を促すGXリーグの実行【20 (新規)】

**「グリーンイノベーション基金」による革新的技術の研究開発や社会実装の推進**

### 3. 地政学的不確実性とカーボンニュートラルに対処するためのグローバル戦略の展開【1,150 (863)】

#### (1) 資源外交を通じた資源・燃料の確保【935 (689)】

- 資源国との脱炭素技術等の協力事業による戦略的な資源外交【155 (105)】

#### (2) アジア・ゼロエミッション共同体構想等の推進【269 (214)】

- アジアのゼロエミッション化に向けた脱炭素技術の実証・導入、人材育成【100 (68)】

## 中小企業のカーボンニュートラル施策の方向性

- 各中小企業の排出量や排出削減の取組の状況に応じて、排出量の見える化、設備投資促進、支援機関からの「プッシュ型」の働きかけ、市場創出等の施策で後押ししていく。

### (1) 温室効果ガス排出量の「見える化」の促進

- 全ての希望する中小企業が、温室効果ガス排出量を簡易に算定し、削減取組も含めて公表できるよう、ノウハウの提供や国の電子報告システムの整備を行う。また、IoTの活用や専門家による分析・提案も通じて、省エネ・省CO2の余地に係る検討を促す。

### (2) カーボンニュートラルに向けた設備投資等の促進

- 省エネ・省CO2効果が期待できる場合、再エネ設備の導入や高効率な生産設備への入替などにより省エネ・省CO2を促すとともに、それを契機としたコスト削減、生産性向上を促していく。

### (3) 支援機関からの「プッシュ型」の働きかけ

- (1) (2) の施策を展開するにあたり、地域の金融機関や中小企業団体等の支援機関によるCNアクションプランの策定を奨励するとともに、支援人材の育成を行うことなどにより、相談を待つのではなく「プッシュ型」で支援施策を紹介してもらうなど働きかけを行ってもらえるよう、支援体制の強化を図る。

### (4) グリーン製品市場の創出 ※対象は中小企業に限定されない

- 製品の排出量等の表示ルールの策定やグリーン製品の調達等を官民で推進することにより、グリーン製品が選定されるような市場を創出していく。また、例えば、適正な価格転嫁を行いつつサプライチェーン全体で「見える化」・排出削減を行うことで、当該製品の競争力強化、当該サプライチェーンの強靱化を図るような取組を後押ししていく。
- 今後、取引先企業から組織や製品単位のCO2排出量を求められるであろうことに鑑み、脱炭素経営の取組を中小企業を含む企業の実務に落とし込み、グリーン製品や脱炭素経営が評価され、投融資や事業機会の拡大、ひいては地域の脱炭素化・ライフスタイル転換に繋がるよう、必要な環境整備を行う。

## 中小企業支援機関によるカーボンニュートラル・アクションプラン

- カーボンニュートラルに関する支援機関の取組を「カーボンニュートラル・アクションプラン」として、登録を募集中。経産省がアクションプランをとりまとめて公表することで、支援機関の取組を「見える化」とするとともに、支援内容の充実を図る。

### □ 「支援機関による取組」の例

- ・省エネ・温暖化対策に関する情報収集・情報提供
- ・相談対応
- ・セミナーや説明会、イベントの開催
- ・CO2チェックシートの配布
- ・専門家派遣
- ・補助金等の計画策定・申請実施に向けた支援
- ・Jクレジットのプログラム型のとりまとめ

### □ カーボンニュートラル・アクションプランのメリット

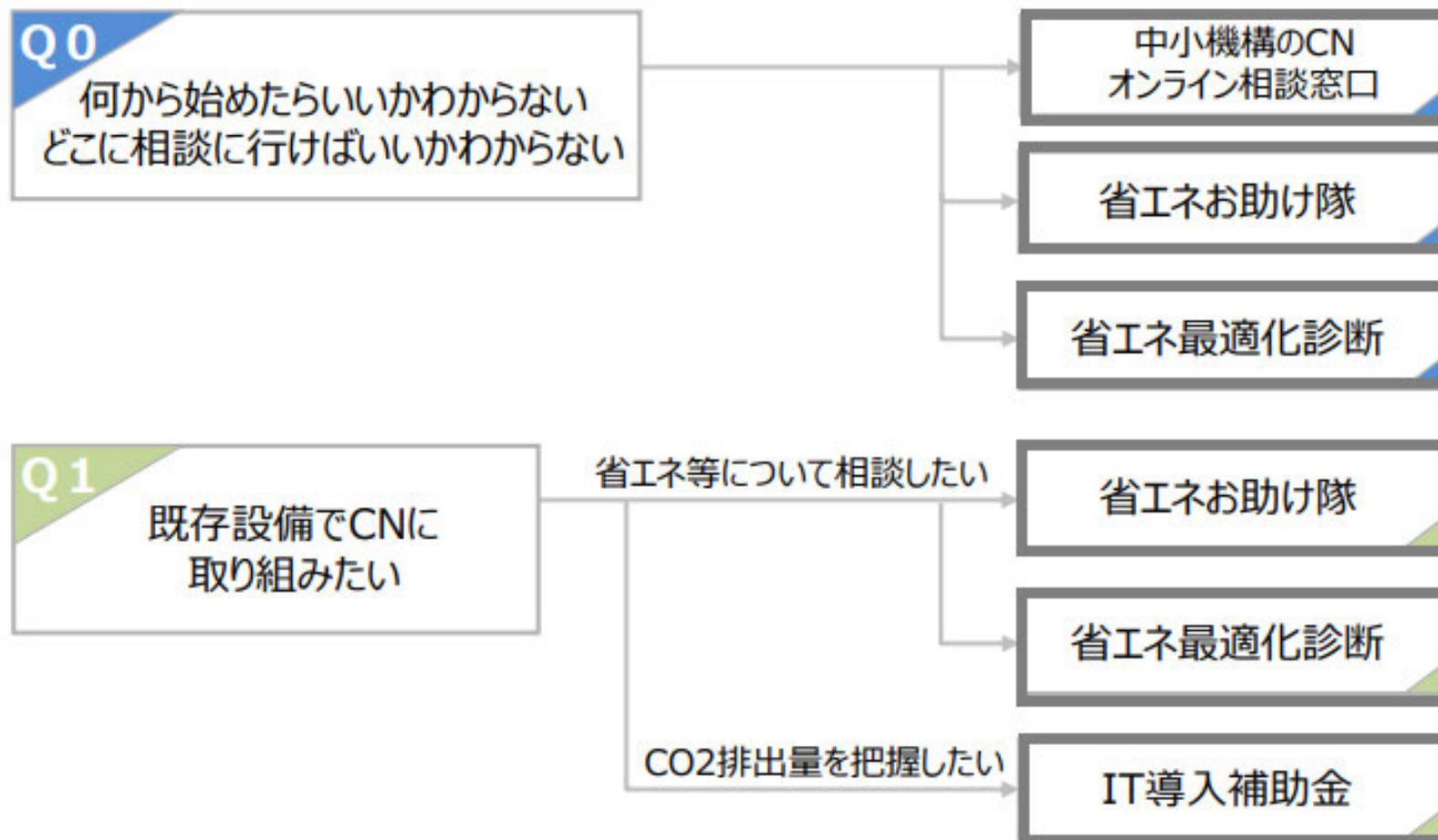
#### 中小企業

- ・身近な支援機関の支援内容を知ることができる。
- ・支援内容を踏まえて具体的な相談をすることができる。
- ・カーボンニュートラル・アクションプランに基づく豊富な支援を受けることができる。

#### 支援機関

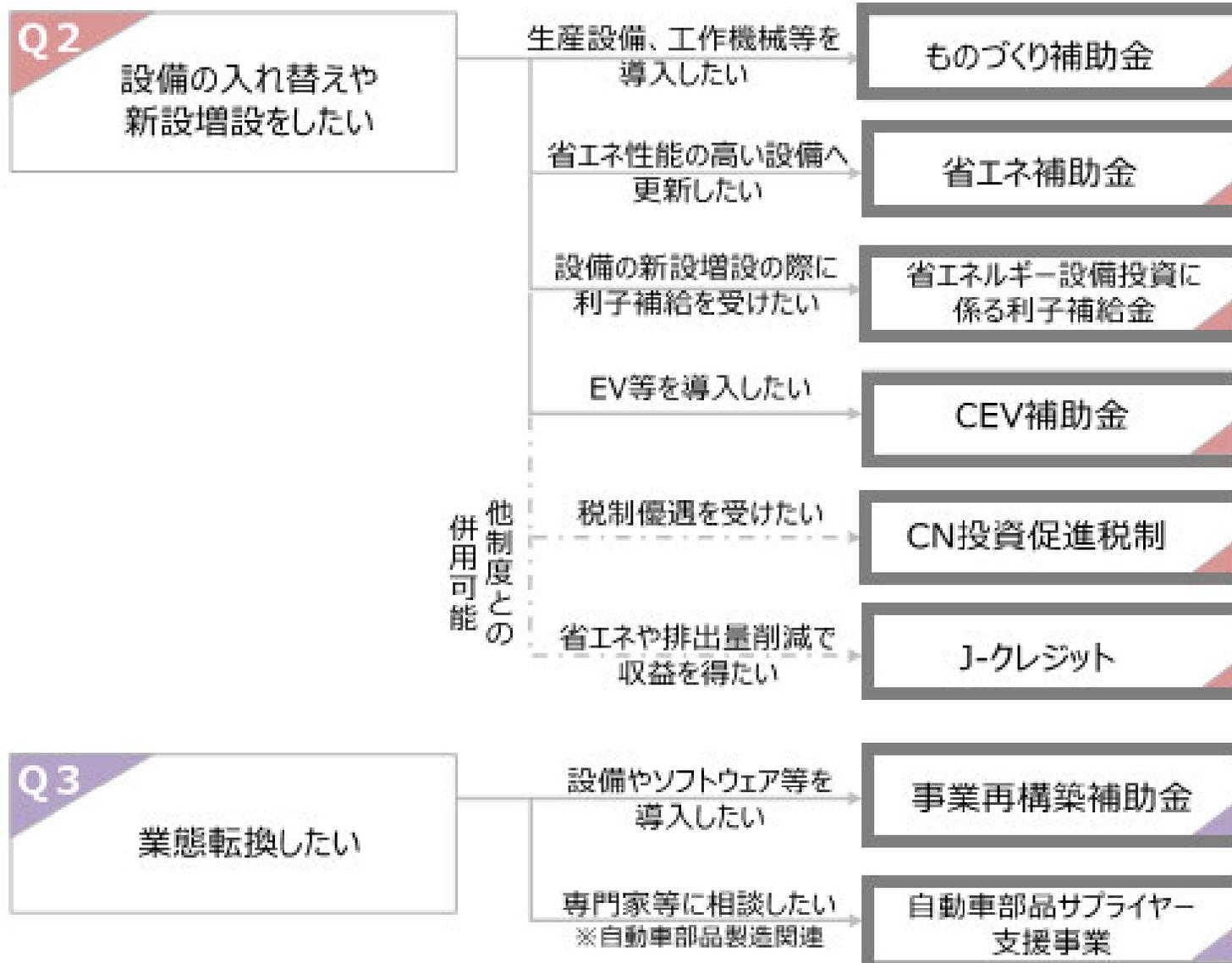
- ・支援内容を広く周知することができる。
- ・カーボンニュートラルに向けた計画的な支援内容の検討につながる。
- ・他の支援機関の取組を知ることができる。
- ・多くの事業者の相談を受けることで、事業者が抱える課題の把握や、相談対応スキルの向上につながる。

# カーボンニュートラル支援策フローチャート(1)



#### 4. カーボンニュートラルに向けた支援策

## カーボンニュートラル支援策フローチャート(2)



#### 4. カーボンニュートラルに向けた支援策

## 『2050年カーボンニュートラルに向けた支援制度』

中国経済産業局では、カーボンニュートラルに取り組む企業や自治体の皆様を支援するため、経済産業省の関連支援策をとりまとめた、『2050年カーボンニュートラルに向けた支援制度』を策定しました。

**掲載URL : <https://www.chugoku.meti.go.jp/policy/seisaku/p4.html>**

※ご利用の際は、ページ中程までスクロールの上、ご確認ください。

※申請等の期限や、条件がありますので、支援制度の利用にあたっては、必ず詳細をご確認ください。



中国経済産業局 資源エネルギー環境部  
カーボンニュートラル推進・エネルギー広報室  
TEL : 082-224-5713